

JAOS MUD GUARD 3 Installation Instructions

Vehicle Application
MITSUBISHI OUTLANDER 21.12- (GN0W)

このたびは JAOS マッドガード 3 をお買い上げいただきまことにありがとうございます。
本書はマッドガード 3 を取り付ける場合の要領と取り扱いについて記載しています。

取り付け前に必ずお読みいただき、正しい取り付けを行ってください。

< 作業後は本書を製品の使用者様にお渡ししていただき、使用者様は本書を大切に保管してください。 >

取付参考時間
INSTALLATION TIME



約 1.5 時間
1.5-hours

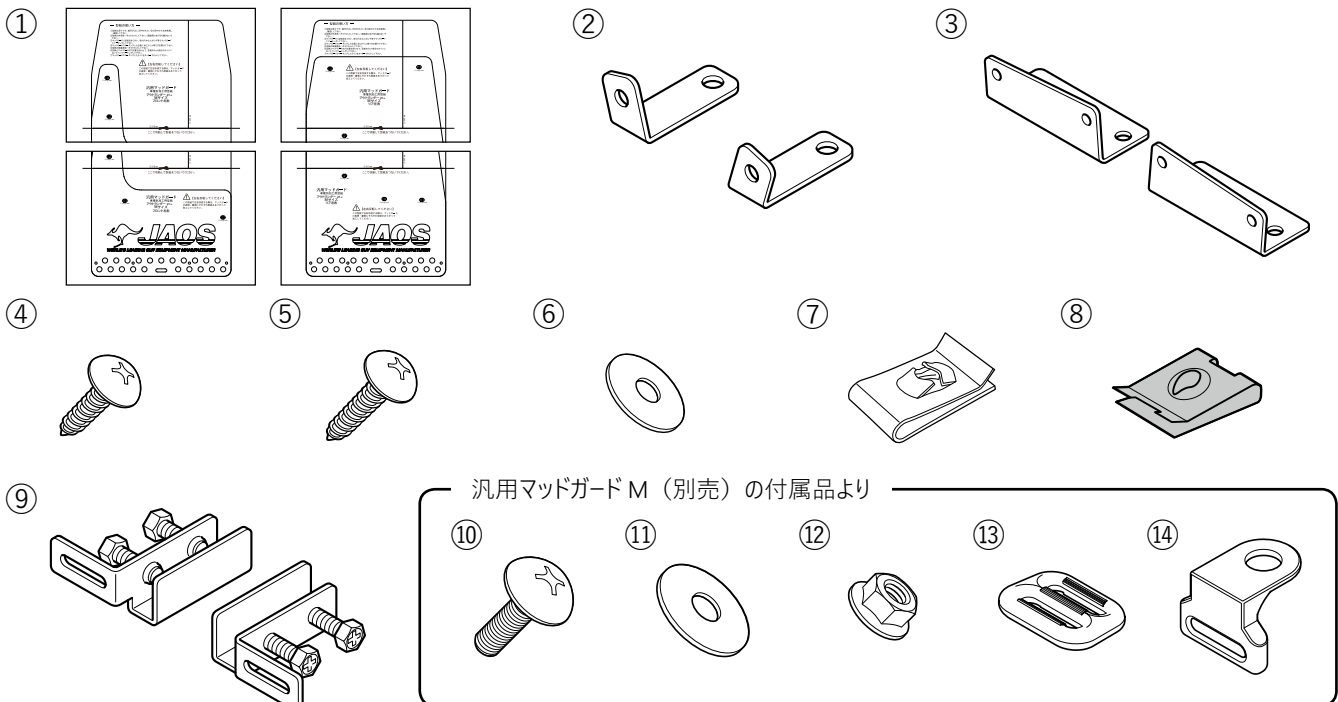
作業難度
SKILL LEVEL

- | | |
|--------------|----------------------|
| ① パーツ交換 / 取付 | Easy |
| ② 車体加工あり | Moderately Easy |
| ③ 専門知識が必要 | Moderately Difficult |
| ④ 分解整備 | Difficult |

必要工具
TOOL

プラスドライバー
ボックスレンチ (HEX 10・12)
メガネレンチ (HEX 10・12)
ドリル (3mm、6mm、7mm)
クリップクランプツール
ハサミ、定規、ライター
カッター、マスキングテープ、鉛筆
マーカーペン

部品構成






汎用マッドガード M (別売) の付属品より

構成部品名称 DESCRIPTION	数量 Q'TY	構成部品名称 DESCRIPTION	数量 Q'TY
① 型紙 (フロント上下 x1, リア上下 x1) PAPER PATTERN	計4	⑧ スピードナット B (ブラック) SPEED NUT B	8
② ブラケット フロント 左右 BRACKET FRONT LH/RH	各1	⑨ ベルト吊りブラケット フロント 左右 BELT BRACKET FRONT LH/RH	各1
③ ブラケットリア 左右 BRACKET REAR LH/RH	各1	⑩ トラスボルト (M6-20) CROSS RECESSED HEAD SCREW	8
④ タッピングスクリュー (M5-16) TAPPING SCREW	8	⑪ ワッシャー (M6) WASHER	12
⑤ タッピングスクリュー (M5-25) TAPPING SCREW	2	⑫ フランジナット (M6) HEX.FLANGE NUT	8
⑥ ワッシャー (M5) PLAIN WASHER	10	⑬ ベルトアジャスター BELT ADJUSTER	4
⑦ スピードナット A (シルバー) SPEED NUT A	2	⑭ ベルト吊りブラケット BELT BRACKET	2

※⑩~⑭は汎用マッドガード M (別売) の付属品より



取り扱い上のご注意

この取扱要領書で使用している表示の意味と内容


-  **警告** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、生命の危険または重大な障害を負う可能性がある内容を示しています。
-  **注意** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、事故による障害を負う可能性または物的損害が想定する内容を示しています。
-  **アドバイス** この表示は効率よく作業を行うために知っていただきたい内容を示しています。

商品は改良のため仕様および形状などを予告なく変更することがあります



取り付け作業を行うまえに

-  **警告** ● 取り付ける車両の安全を確認・確保してください。
-  **注意** ● 取付要領書を必ずお読みください。



安全に作業を行うために

-  **注意** ● 純正部品の脱着は当該車両の修理書にしたがい作業を行ってください。
● 製品は丁寧に扱ってください。
● 作業に適した服装で作業を行ってください。



取り付けについて

-  **警告** ● 必ず既定の締め付けトルクにて締め付けを行ってください。
-  **注意** ● 取り付け後には必ず取り付け確認と走行テストを行ってください。

使用上の注意事項

-  **警告** ● 設計荷重の範囲内で使用してください。
-  **注意** ● 定期的な点検を行ってください。
● 薬品などの付着に注意してください。
● 路面とのクリアランスや環境変化による走行には十分ご注意ください。

中古品の売買および譲渡や廃棄について

-  **注意** ● 同じ商品でも販売時期や仕様変更などにより内容が異なる場合があります。
● 商品や付属品が正確に判別することができない場合、お問い合わせに対する回答内容は保証いたしかねますのでご了承ください。
● 商品に不具合が生じている場合はお買い求めの販売店や弊社にご相談ください。
-  **アドバイス** ● 商品の破棄は専門家に相談してください。

保証について

- **初期不良の保証…お届けから1週間以内**
商品の破損、不具合などトラブルがあった場合、初期不良の保証対象として修理、代品交換、返品を承ります。
- **製品保証…弊社オリジナル商品をご購入より1年間** ※ただし、期間内でも走行距離20,000kmまで
初期不良に該当する場合や一部消耗品を除き、購入履歴をお調べし規定に従い保証いたします。

 保証についての詳細はJAOSオフィシャルサイトをご参照ください。【保証について】 www.jaos.co.jp/support/policy ▶



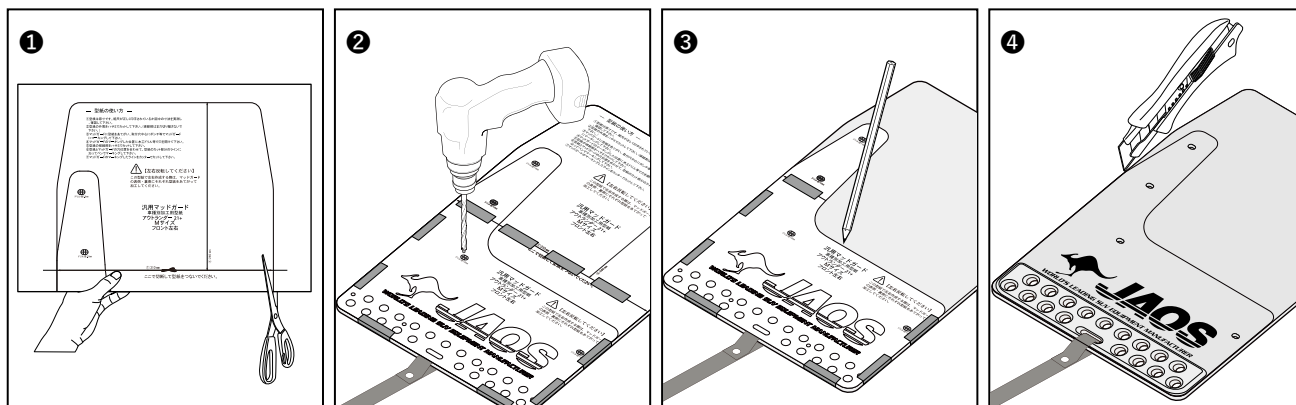
取り付け作業を行う前に

- オプション装着車の場合、本製品との同時装着はできません。

取付要領

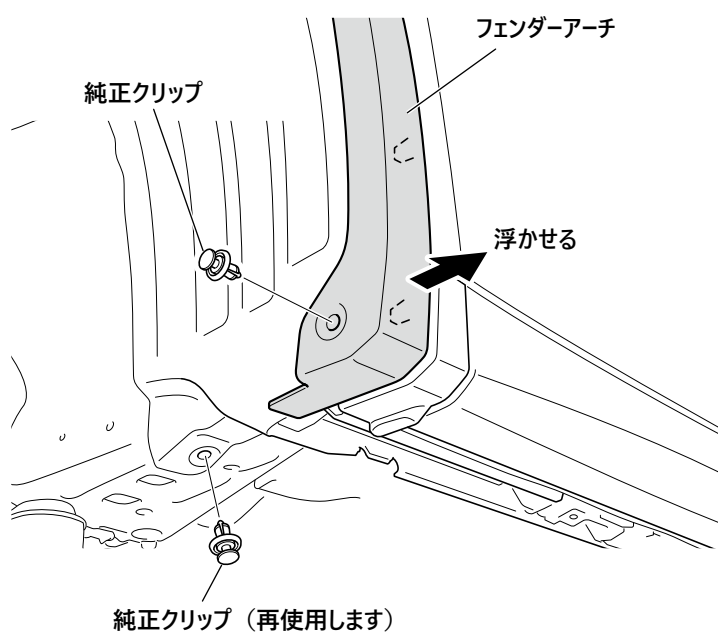
※図中や文中の○数字は構成部品のナンバー、●数字は作業の順番を示しています。

1. マッドガードのカット



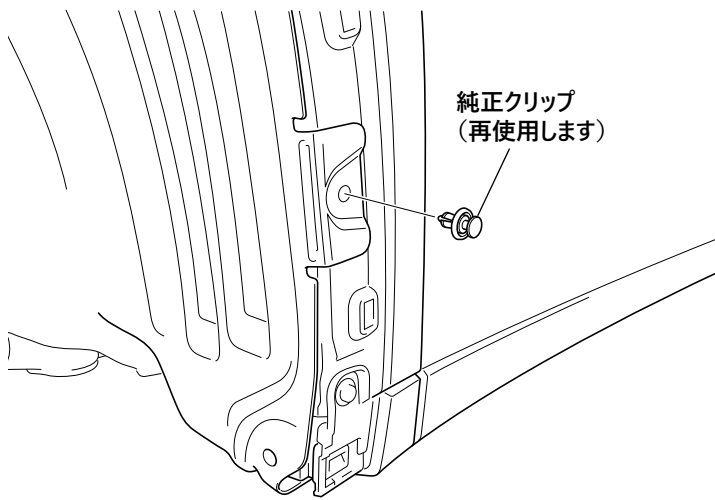
- 型紙①の実線をカットしていきます。(●①)
- 型紙①とマッドガード M 本体の下側を揃え、マスキングテープなどで固定し、取り付け穴を加工します。(●②)
- マッドガード M 本体と型紙①の境界線を鉛筆などで罫書きます。(●③)
- 型紙①をはがし、罫書き線に沿ってカッターなどでマッドガード M 本体をカットしていきます。(●④)

2. フロント側の取り付け 説明は左側になります。右側も同様の作業を行います。



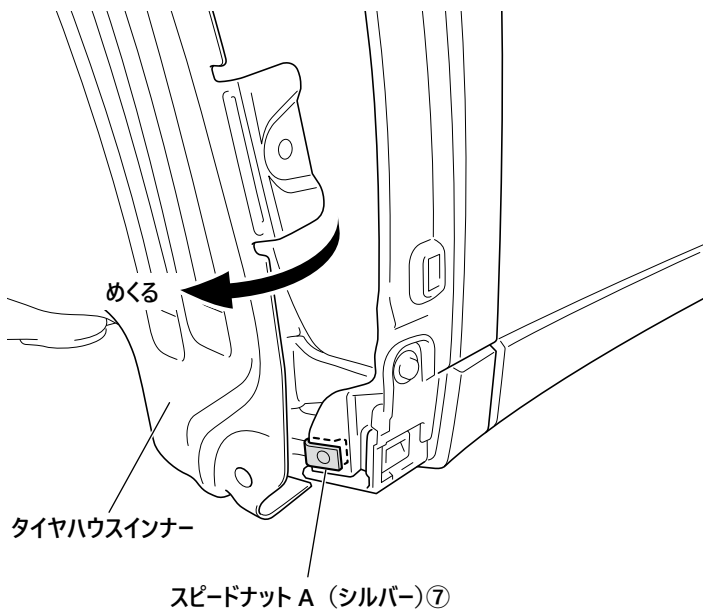
- フロントタイヤハウスインナーの純正クリップ（片側 2箇所）を取り外し、フェンダーアーチを浮かせます。

👉アドバイス 取り外した純正クリップ（フェンダーアーチ固定用）は使用しません。大切に保管してください。

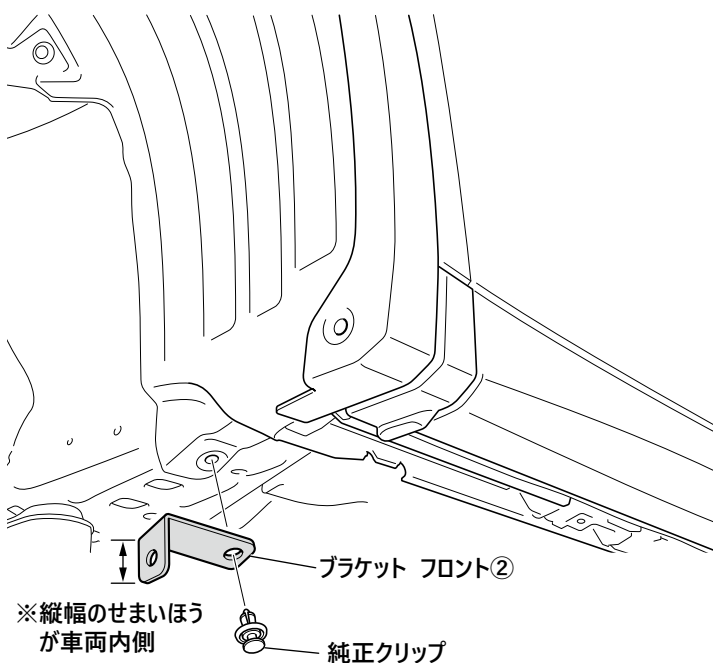


- フェンダーアーチ部の純正クリップ（片側1箇所）を取り外します。

アドバイス 取り外した純正クリップは再使用しますので、紛失しないように保管してください。

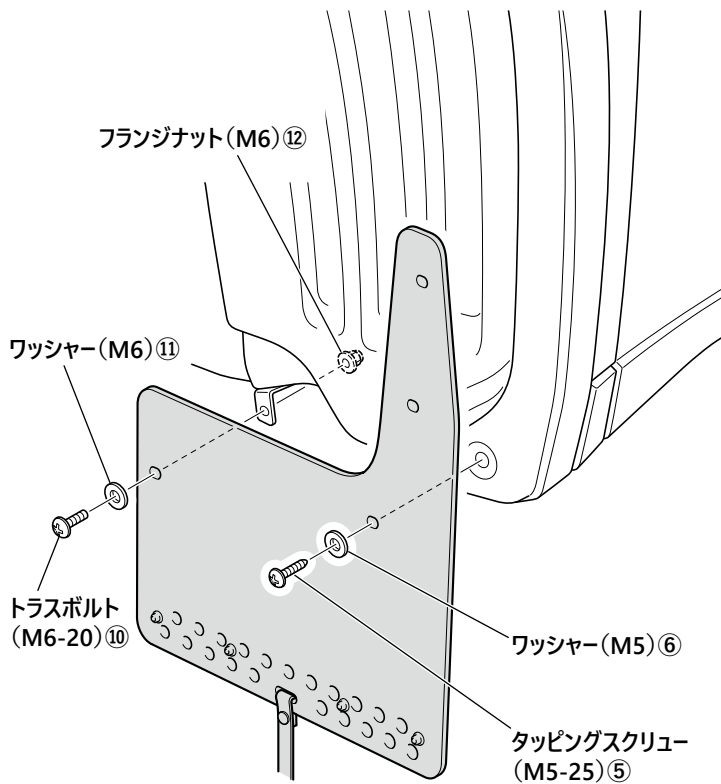


- フロントタイヤハウスインナーをめくり、クリップ穴にスピードナット A（シルバー）⑦を差し込みます。

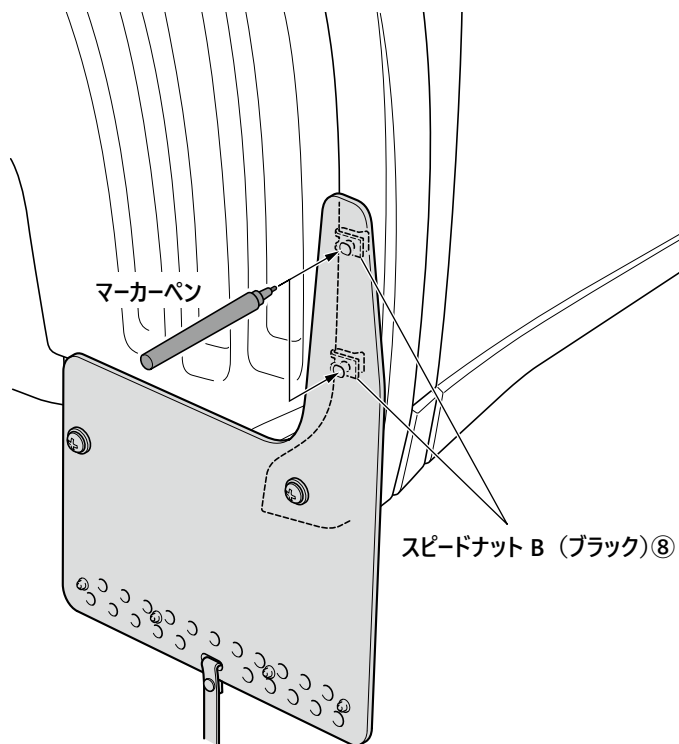


- フロントタイヤハウスインナーとフェンダーアーチを戻し、ブラケット フロント②を純正クリップで取り付けます。

注意 ブラケット フロント②は左右で形状が異なりますので、取り付け前に左右が異なることを確認してください。



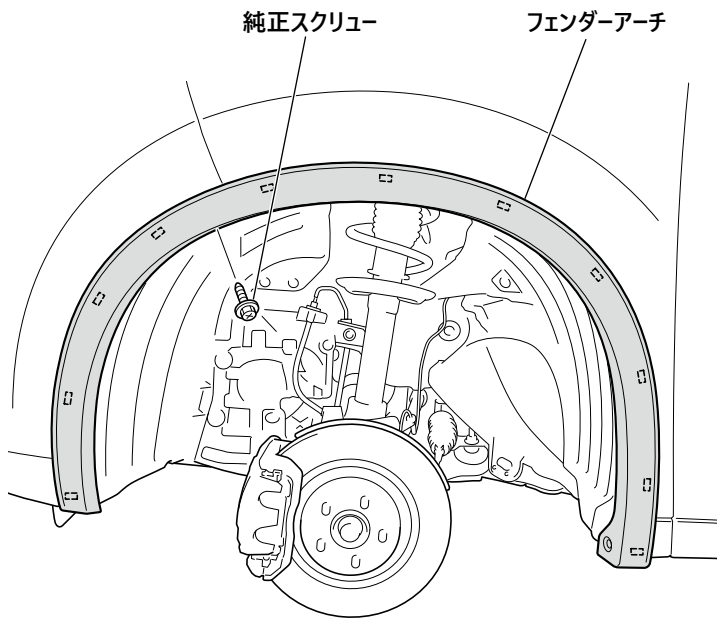
- 純正クリップ部にタッピングスクリュー (M5-25) ⑤とワッシャー (M5) ⑥でマッドガードを仮組みします。
- マッドガード内側を汎用マッドガードに付属するトラスボルト (M6-20) ⑩、ワッシャー (M6) ⑪、フランジナット (M6) ⑫でブラケット フロント②に仮組みします。



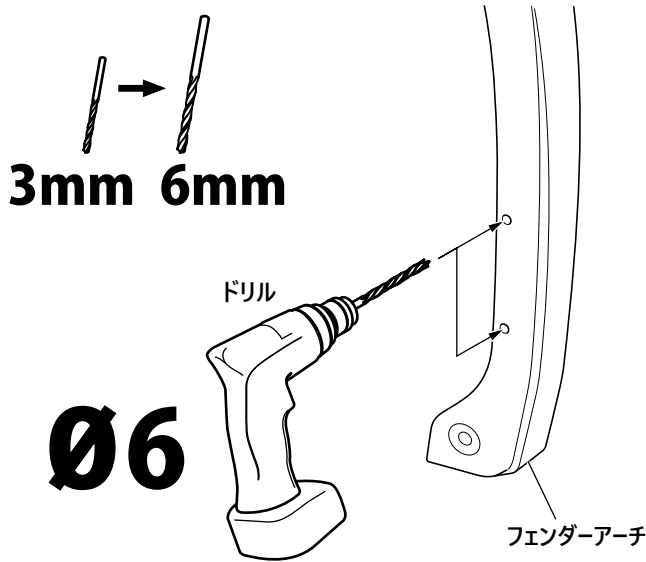
- スピードナット B (ブラック) ⑧をマッドガード上側 2 つの穴位置に合わせてフェンダーアーチに取り付けます。

⚠ 注意 スピードナット B(ブラック) ⑧はフェンダーアーチの奥までしっかり差し込んでください。

- 左右を取り付け、取付位置などを調整したら、スピードナット B (ブラック) ⑧の穴越しにマーカーペンなどでフェンダーアーチに穴開けをするマークを付けます。



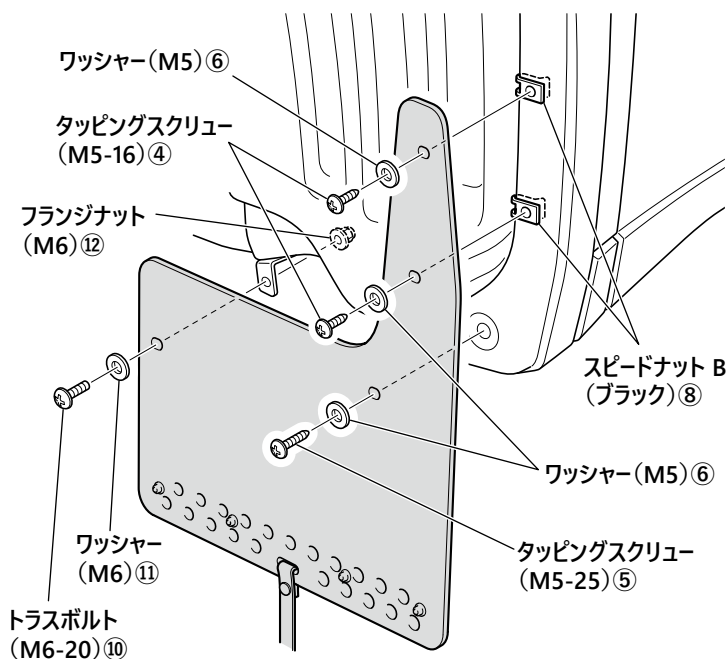
- マッドガードとスピードナット B (ブラック) ⑧を一旦取り外します。
- フェンダーアーチ部の純正スクリー (片側 1箇所) を取り外し、フェンダーアーチを取り外します。



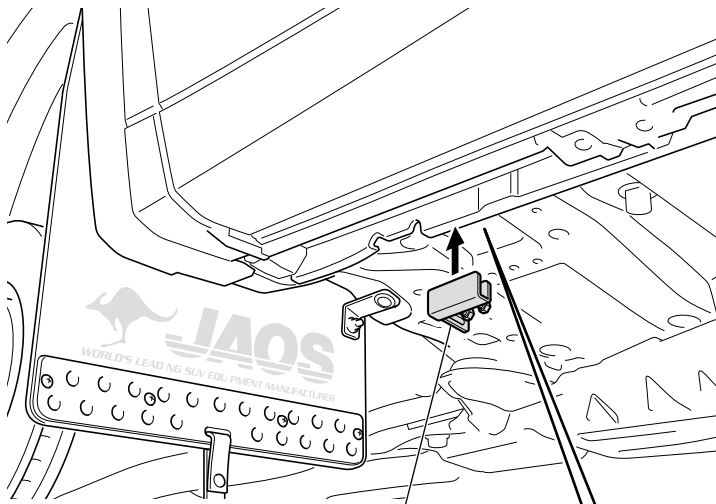
- 図を参照しマーキングした穴位置にドリルで Ø3 の下穴をあけ、最後に Ø6 の本穴をあけます。

⚠ 注意 穴開け加工は周囲を損傷しないよう十分に注意をしながら行ってください。

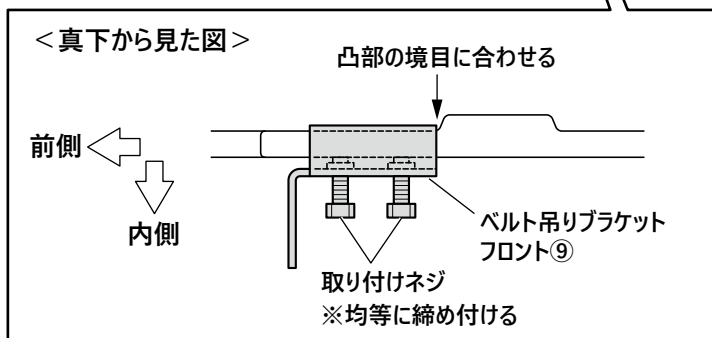
- 丸やすりで穴のふちにできたバリを取り除きます。



- フェンダーアーチを元に戻し、スピードナット B (ブラック) ⑧を取り付けます。
- 再度同様にマッドガードを仮組みします。
- 穴開け加工した位置をタッピングスクリー (M5-16) ④、ワッシャー (M5) ⑥で仮組みします。
- 左右を取り付け、取付位置、水平などを調整したら、ビス類を増し締めします。

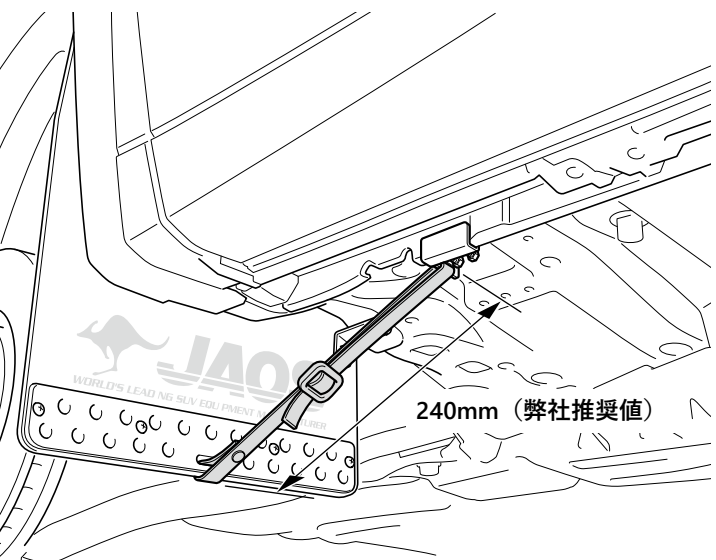


ベルト吊りブラケット フロント⑨



- 車両下面の左図の位置にベルト吊りブラケット フロント⑨を取り付けます。

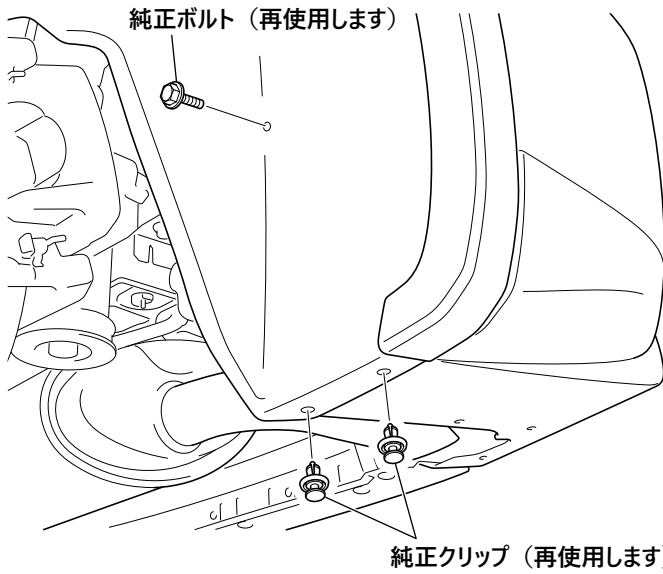
アドバイス ベルト吊りブラケット フロント⑨の向きに注意してください。通し穴が車両前側、内側になります。



- マッドガードのベルトをベルト吊りブラケット フロント⑨へ取り付けます。ベルトの長さは240mm（弊社推奨値）に調整します。

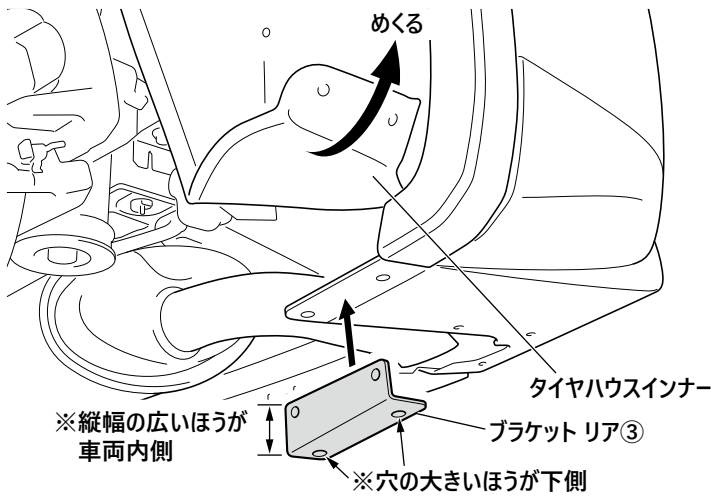
• 余ったベルトはハサミでカットし、ライターなどであぶり、ベルトがほつれない様処理をします。アジャスターの通し方やベルトの処理方法について詳しくは、汎用マッドガードの要領書を確認してください。

3. リア側の取り付け 説明は左側になります。右側も同様の作業を行います。



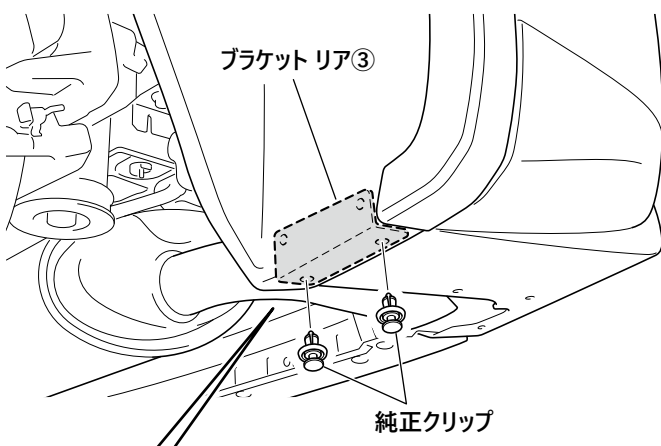
- リヤタイヤハウスイナーの純正ボルト (片側 1箇所) とバンパー下側の純正クリップ (片側 2箇所) を取り外します。

アドバイス 取り外した純正ボルトと純正クリップは再使用しますので、紛失しないように保管してください。



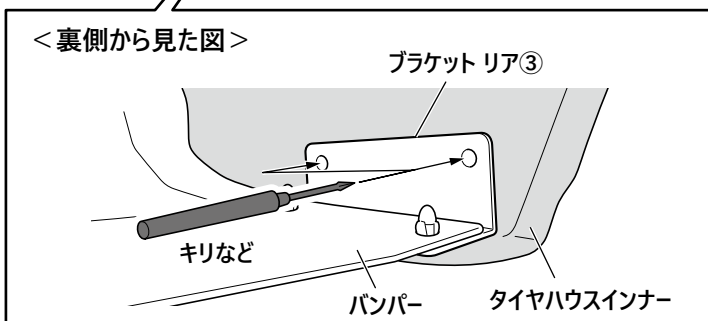
- タイヤハウスイナーをめくり、ブラケット リア③をバンパーとタイヤハウスイナーの間に入れてタイヤハウスイナーを戻します。

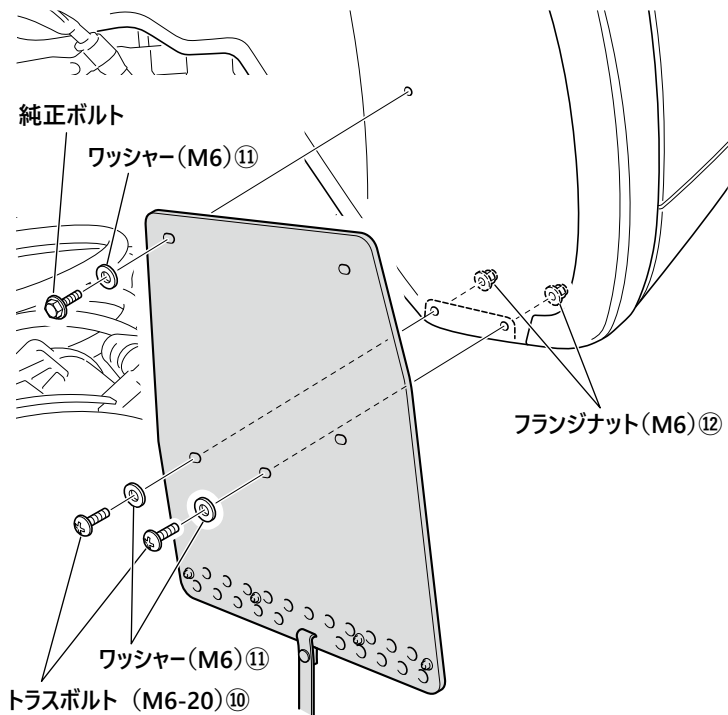
注意 ブラケット リア③は左右で形状が異なりますので、取り付け前に左右がであることを確認してください。



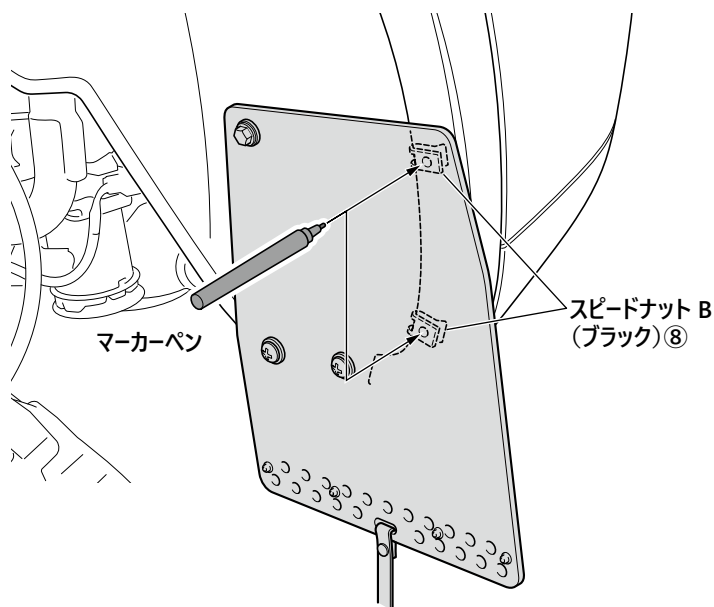
- ブラケットリア③を車両下側から純正クリップで仮組みします。
- バンパーの裏側からブラケット リア③の穴に合わせてキリなどでタイヤハウスイナーに穴を開けます。

アドバイス トラスボルト (M6-20) ⑩が通る程度まで穴を広げてください。





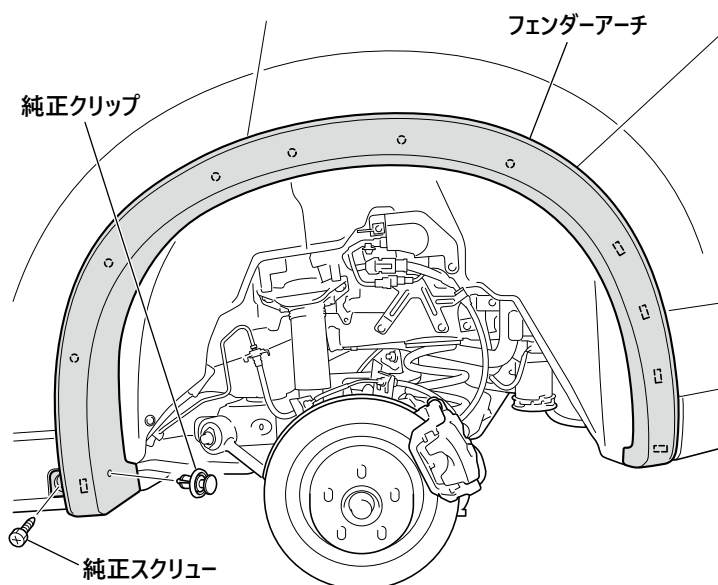
- マッドガード上側を純正ボルトとワッシャー (M6) ⑪で仮組みします。
- マッドガード下側を汎用マッドガードに付属するトラスボルト (M6-20) ⑩、ワッシャー (M6) ⑪、フランジナット (M6) ⑫でブラケットリア③に仮組みします。



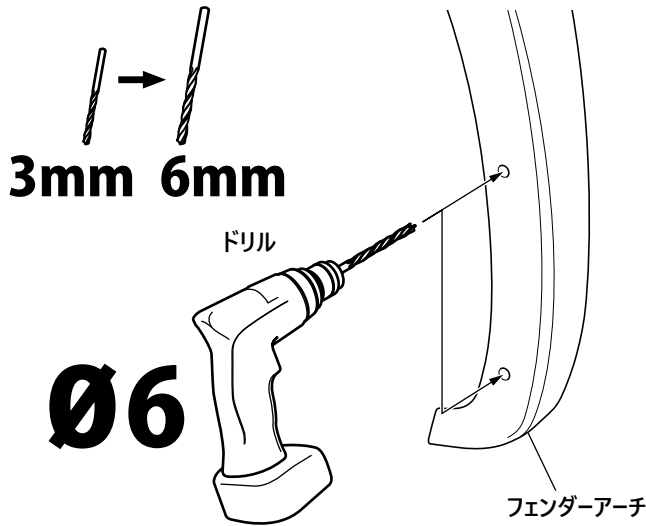
- スピードナット B (ブラック) ⑧をマッドガード外側 2 つの穴位置に合わせてフェンダーアーチに取り付けます。

⚠ 注意 スピードナット B(ブラック) ⑧はフェンダーアーチの奥までしっかり差し込んでください。

- 左右を取り付け、取付位置などを調整したら、スピードナット B (ブラック) ⑧の穴越しにマーカーペンなどでフェンダーアーチに穴開けをするマークを付けます。



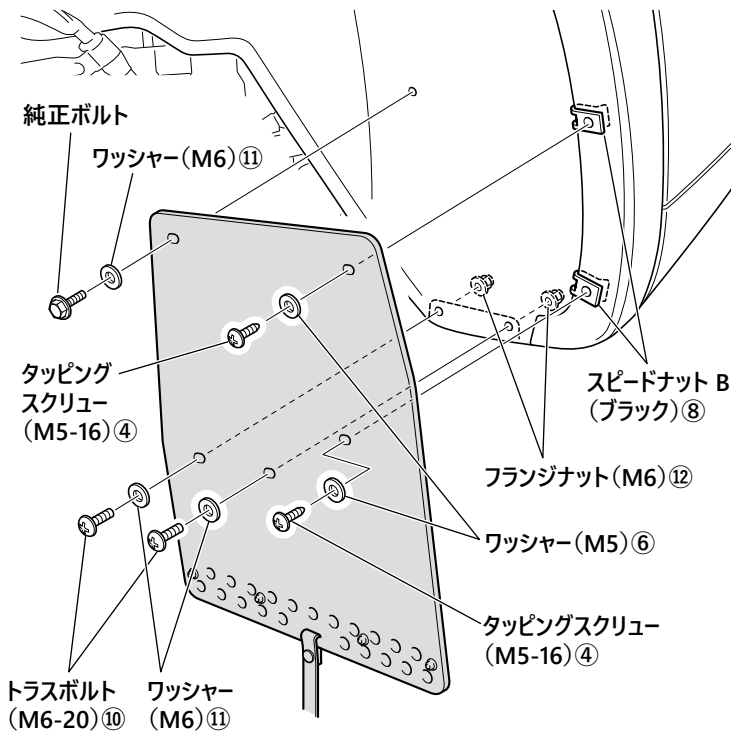
- マッドガードとスピードナット B (ブラック) ⑧を一旦取り外します。
- フェンダーアーチ部の純正スクリューと純正クリップ (各片側 1 箇所) を取り外し、フェンダーアーチを取り外します。



- 図を参照しマーキングした穴位置にドリルで Ø3 の下穴をあけ、最後に Ø6 の本穴をあけます。

⚠ 注意 穴開け加工は周囲を損傷しないよう十分に注意をしながら行ってください。

- 丸やすりで穴のふちにできたバリを取り除きます。

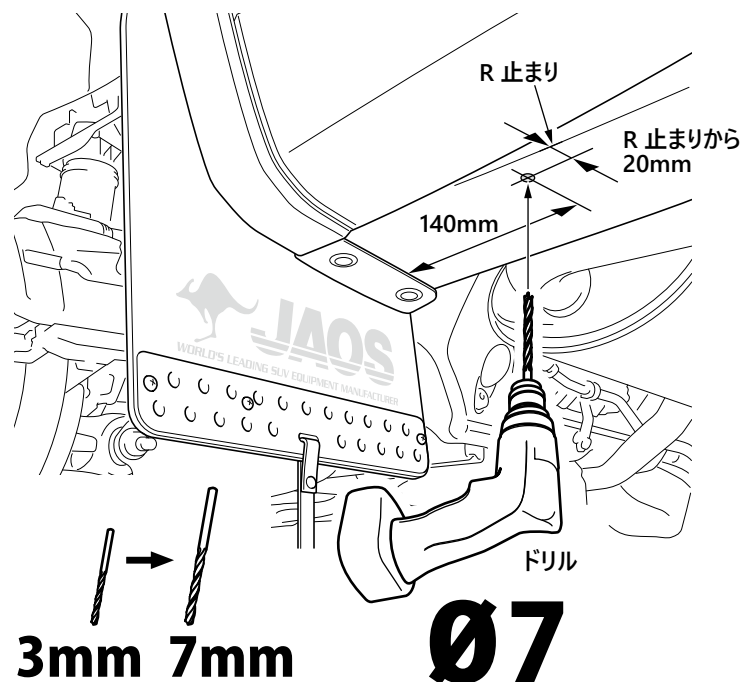


- フェンダーアーチを元に戻し、スピードナット B (ブラック) ⑧を取り付けます。

- 再度同様にマッドガードを仮組みします。

- 穴開け加工した位置をタッピングスクリュー (M5-16) ④、ワッシャー (M5) ⑥で仮組みします。

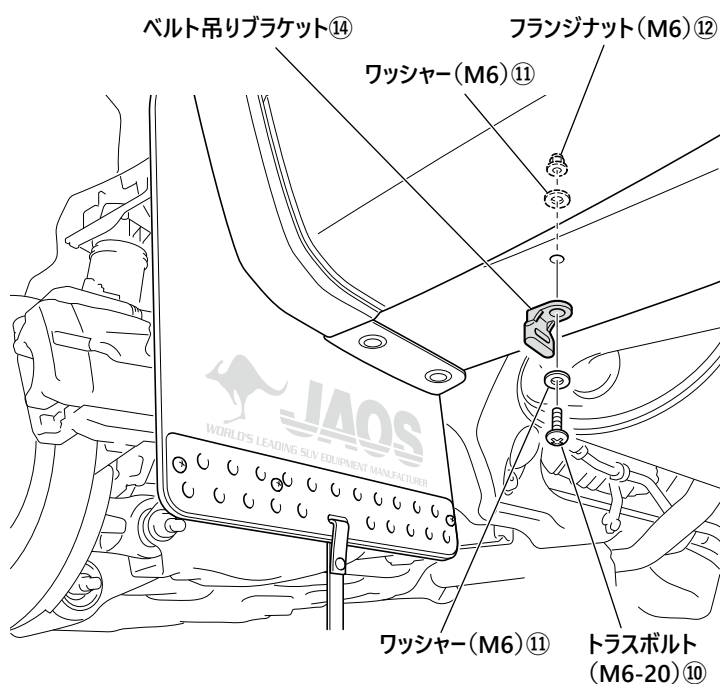
- 左右を取り付け、取付位置、水平などを調整したら、ビス類を増し締めします。




- 図を参照しリアバンパー下面にドリルで Ø3 の下穴をあけ、最後に Ø7 の本穴をあけます。

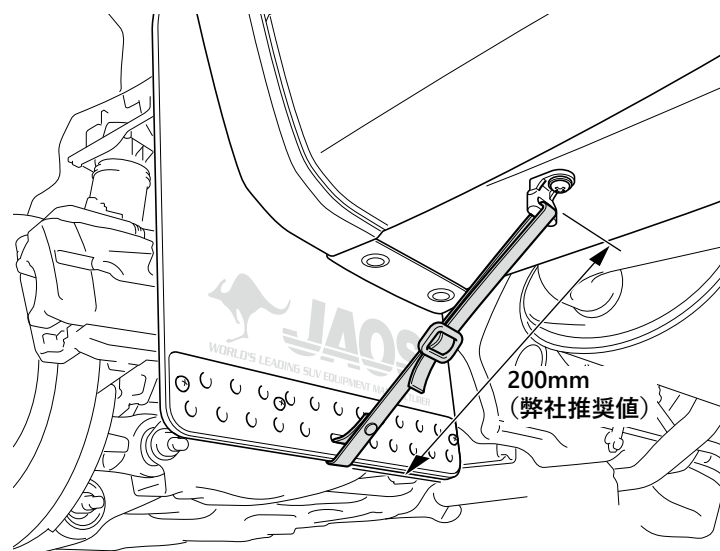
⚠ 注意 穴開け加工は周囲を損傷しないよう十分に注意をしながら行ってください。

- 丸やすりで穴のふちにできたバリを取り除きます。



- 穴開け加工した位置にベルト吊りブラケット⑭を汎用マッドガードに付属するトラスボルト(M6-20)⑩、ワッシャー(M6)⑪、フランジナット(M6)⑫で取り付けます。


 **アドバイス** ベルト吊りブラケット⑭の向きに注意してください。通し穴が車両前側になります。



- マッドガードのベルトをベルト吊りブラケット⑭へ取り付けます。ベルトの長さは200mm(弊社推奨値)に調整します。

- 余ったベルトはハサミでカットし、ライターなどであぶり、ベルトがほつれない様処理をします。アジャスターの通し方やベルトの処理方法について詳しくは、汎用マッドガードの要領書を確認してください。

装着状態の確認

 **注意** 装着後には必ず取付確認を行ってください。
ボルト類の締め付け忘れなどにより本体が脱落する恐れがあり大変危険です。

- 全体の組付けが完了したらマッドガードを揺さぶり、異音がしないかを確認します。
- 各ボルトの締め付け部をもう一度締め付け、増し締めされているかを確認します。